

令和元年度 自己評価結果公表シート

学校法人中井学園
新ひのお台幼稚園

1. 教育目標

- ・ のびのびと自然に親しみ、元気な子どもを育てる。
- ・ 三年一貫教育により、人格形成の基礎をつくる。
- ・ 挨拶がきちんとでき、人の話を聞く態度を身につくよう育てる。

2. 本年度、重点的に取り組む目標、計画

- ・ 三年一貫教育により、各学年の目標を明確にし、教師自ら自己点検、自己反省、自己評価を行い、個々の資質向上を図る。
- ・ 立腰、靴そろえ、挨拶、返事の徹底を図る。
- ・ 朝のサーキットをすることで気持ちの切替えを図る（年中、年長）。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取 組 状 況
A：指導計画の見直し	① 子どもの発達過程に沿った指導計画にするため、三学年(満3歳児を含む)の話し合いを綿密にした。 ② 毎日、反省文、留意点を書くことで自らを見つめ直し、保育の向上に努めた。 ③ 補助の必要な子どもの独自指導を再考した。
B：研修の充実	① 保護者に対し、講師の方に子育ての講演を行った。 ② 園内では絵画・造形・音楽(鼓隊、楽器)・体操(補助の仕方等)の研修を実施。又、教職員の資質向上の為、講師を招き障がい教育や社会人としてのマナーを身につけた。 ③ 堺市、大阪府、幼稚園連盟等の専門研修に積極的に参加し、研修内容をレポートして、全員に配布、伝達した。
C：保護者との連絡、情報発信	① クラス全員の自己紹介を作成し、クラスだより又は、連絡帳に子どもの様子を詳しく記入した。学期ごとに個人懇談を行い、各個の育ちを共有することができた。 ② 欠席の園児に連絡し、状態を把握した。 ③ 緊急メール(一斉送信)を利用することで、早期対応ができた。また、ホームページの活用で保育の様子を写真で知らせた。
D：健康管理の充実	① 感染症があると、こまめに手紙やメールで欠席状況を知らせ、蔓延を防ぐよう協力を求めた。 ② 子ども達の健康増進の為に、年中・年長児は設定保育前にサーキット運動を日常的に行った。

E：行事の取組の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ① 作品展等も日頃の造形活動の物を利用することで、子ども達に無理なくかたよった保育内容にならないようにした。又、子どもの発達状況を明確に表現した。 ② 長期休暇を利用して計画的に下準備や手直し等を行った。
F：小学校や地域連携の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域の子育てサークルに教員を派遣した。 ② 年長児が地元小学校に訪問し、1年生の生徒にあそびを教えてもらった。 ③ 中学生や高校生の職場体験の場とした。 ④ 新檜尾台連合自治会の夏祭りに出店し、交流を深めた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記評価項目については、実績をあげることができたと思います。三年一貫教育という方針の下、子どもたちの成長を考慮し、カリキュラムの前倒しを考えてきました。 又、新任の担任教諭にベテラン教諭を配置して各クラスの足並みを揃えられるよう話し合い、自己反省、評価を活かして、園全体の調和を図りました。
--

5. 今後の取り組むべき課題

指導計画の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三年満3歳児から一貫教育により、子ども達の発達状況をふまえて指導計画を見直していく。 ただし、5領域のバランスのとれた保育を提供していく。
園児の生活面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶がきちんと言える。「ハイ」とはっきりいえる。 靴をしっかりとそろえられる。姿勢よく人の話がきちんと聞ける。けじめをつけられる等自分を見つめなおせる 道徳教育をひきつづきめざしていく。
保護者への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大半の園児がバス通園なので、園のことをもっと知っていただけるようホームページの活用を再考していく。 ・ ペーパーレスを図る。 ・ バスの走行場所がスマホで見えるようにする。

6. 保護者からのアンケート結果（令和元年度分）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣の確立がしっかり出来るようになった。 ・ 学年によってホームページの写真の多少があるのでもっと知りたい。

7. 財務状況

<p>公認会計士監査により、適正に運営されていると認められていると同時に、改善策を講じるよう助言・指導を頂いている。</p>
--